道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

大阪生まれのレジェンドレーサー辻本聡さん（65歳）。会話はほとんど漫才!?

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

「逢いたい人に逢いに行く」。旅は私のライフワークですが、昨年続いた友人の逝去や元気印の夫のポリープ除去手術などが背中を押し、それだけがテーマのドライブに行ってきました。再会したい人がいっぱいいるのに、なぜか10年単位で行けず、いつも心の片隅に引っかかっていた神奈川界隈。気がつけばお互い体調のやりとりが挨拶になる今日この頃。忙しいだけでは身も心も亡くしてしまうので、一大奮起して敢行（＋観光）してきました。

まずは湘南編。

皮切りの海辺は、姉たち夫妻が暮らす千葉の富津市。病を患って2年の義兄のお見舞いですが、思っていたより元気で一安心。深刻な状況でも「笑って会話ができるか」「食べているか」「冗談がでるか」が私なりにホッとするポイントですが、どれもクリアでほんとうによかった。電話やメールだけでは分からないことも、リアルに逢うと納得したり解決の糸口が見えてきたりするものです。

次に東京環状を通って向かったのは、神奈川県横須賀市野比の海岸にある「ＰＩＬＯＴＡ ＭＯＴＯ」。ロードレース界のレジェンド で今もモータースポーツ関連の解説や監督業で活躍する辻本聡氏が経営するカフェですが、自ら美味しいコーヒーや軽食を作って対応してくれる夢のような空間です。1986年頃に鈴鹿8時間耐久ロードレースの同じ舞台にいましたが、こちらは素人のバイクショップチーム。辻本さんはヨシムラ・スズキチームの若手で全日本ロードレース連覇中であり、いきなりの3位を皮切りに幾度も表彰台に立ち、時代を代表するライダーとして活躍。四輪もスーパー耐久に参戦し、常にトップを競う中にいました。久しぶりに声を掛けてもらったのは、今から6年前。彼がバイク雑誌で連載していたキャンプのページで我がカフェを尋ねてくれたのです。お客さんは当時をよく知る人ばかりなので大騒ぎとなり、サイン＆トーク会から思いつきのミニツーリングまで、今でも仲間内で語り継がれる贅沢な時間を堪能しました。あの時「私も辻本さんのカフェに行きます！」と約束したのに、あっという間に月日が流れていきました。という訳で、尋ねた時のビックリ加減は狙ったとおり。辻本氏は元気そのものですが、「なぜカフェを始めたのか」という話は、アイススケート金メダリストの小平奈緒さんが松本の相澤病院の横で営むカフェ「クライミングコーヒー」始動の動機に通じるものが！コンマ何秒の世界で戦ってきた彼にとって、駆け引きではなくヒトとリアルに話せる空間は、新鮮で意味があるようです。サーキット通いも多いので、営業はやや不定期ですが、美味しくて楽しくて笑いっぱなしの憩いの場所でした。

そしてもう一件尋ねたかったのが、向井稔&多美子（たみ）さん夫妻が営む茅ヶ崎の「Ｃａｆｅ Ｄｏｏｒ」さん。カフェを作る前から家族付き合いがあって「姉妹店」と勝手に呼んでいるのに、オープンしていませんでした。どこかのお客様が頻繁に行き来をするので行った気になっていたけれど、「いつか行けるだろう」では叶わないものなのですね。7年前にマスターが心臓を悪くしてした時も、安定したらコロナ禍だったりと、「行きたい症候群」に巻が入ります。結局、この春に断捨離ということで我が家に似合う欧米の家具を4トン分もどどーんと下さったTさんが鎌倉在住なので、お礼の挨拶に伺うのを軸に各所探訪を企てました。

江島神社参拝も大事なポイントでした。近くの海に両親の骨を散骨したことは以前記しましたが、家族で私だけが9年も行けなかったのです。いい加減にしなさーい！と言われた気がして行きましたが、心の底から肩の荷が降りました。とにかくこの時期の夕景は美しく、改めて太平洋は（も）いいなあと感動。かつては毎月のようにツーリングでやってきた湘南海岸ですが、光彩と南仏風の街並みが若い頃以上に心に染み渡ります。

本当に楽しかった。すぐにでもまた行きたいけれど、九州・四国・中国地方・東北・沖縄と、逢いたい人が日本中にいるので、巡業はまだまだ続きます（来年7月の北海道ツーリングはもう決定！）。人生はやっぱり終わりのない旅ですね。

丁寧に作ってくれるカフェオレの美味しいこと。ディスプレイも楽しくて、居るだけで幸せに♪

みんな大興奮！ 辻本さんを先頭に、カフェにいた全員で往復100キロの豪華ツーリング！（2019年）

「CafeDoor」の向井たみさんとの仲良しショット。16年で変わった?変わらない？　毎年撮る!?

大好きなたみさん（左）と稔さん（右手前）。お客さんは、私のカフェでもよく逢う人ばかり。本当に姉妹店♪

日本三大弁財天がある江島神社の辺津宮（へつみや）。岩屋・展望台・出店・ヨットバーバー・桟橋と1日遊べます。

海に囲まれた江ノ島の夕陽サイコー。実は東京を離れることを決めた30年前、最初に探したのが湘南でした。

九州の散歩道

五島列島を「EV車」でドライブ

フリージャーナリスト　湯浅玲子

先日、長崎県・五島列島の福江島に行きました。初めて行くのでとても楽しみにしていたのですが、そうした期待にたがわず海と山の自然に恵まれた素晴らしい場所でした。

現地でレンタルしたのは初めて運転するＥＶ車です。五島では環境にやさしいＥＶ車が普及しているそうで、レンタカーにもＥＶ車がラインナップされています。最初は山道などでパワーがあるのか少し不安だったのですが、どんな道でも快適にドライブできて、心配だった充電場所も事前にマップで確認できて問題なく過ごせました。

最初に向かったのは静かな入江に立つ堂崎教会。明治時代に入って禁教令が解除され、五島キリシタン復活の拠点として島内で最初にできた天主堂です。レンガ造りの建物は弾圧の歴史や資料を展示する資料館として公開されています。隠れキリシタンの里であった五島には現在もたくさんの教会が残っていますが、その中でも五島を代表する教会といえます。

続いて福江島のシンボルと言われる鬼岳へ。何やら勇壮な名前とは裏腹に、その姿は丸みを帯びたなだらかな形をしています。遠くから見てもすぐわかる特徴的な形で、登ってみると福江の市街地や五島の海が見晴らせます。芝に覆われた丘陵地帯は散策やのんびり過ごすにもぴったり。ちょうどススキが黄金色に揺れる季節でした。

鬼岳は夜にも再度訪れました。ここには本格的な天体望遠鏡を備えた天文台があり、解説付きの星空観察が楽しめます。条件が良ければ降るような星空が満喫できるのですが、あいにく満月近くの月明かりでそこまで条件が良くありません。それでも360度星空に囲まれる体験は、都会ではなかなかできない貴重な体験でした。

ドライブの最終目的地はゴツゴツとした海岸線が続く鐙瀬（あぶんぜ）溶岩海岸。約5万年前に、鬼岳付近の火山の噴火で溶岩が流れ出て形成されました。五島はジオパークにも認定されていて、その成り立ちを映像などで学べるビジターセンターもあります。

今回は仕事の都合でドライブできたのは主に福江島の東側。島の西側には白砂と青い海が美しい高浜海水浴場や、九州で最も遅く夕陽が沈む大瀬埼灯台など、まだまだ見どころがあります。さらに五島列島は福江島以外にもたくさんの島があるので、次はまだ行ったことのない場所を巡ってみようと思います。

（写真提供：一般社団法人長崎県観光連携）

入江に立つレンガ造りの堂崎教会

※写真掲載については長崎大司教区の許可をいただいています。

緑の芝に覆われた鬼岳とＥＶ車

道路交通情報

◇道路緊急ダイヤル　#9910
◇NEXCO東日本　http://www.e-nexco.co.jp/
◇NEXCO中日本　http://www.c-nexco.co.jp/
◇NEXCO西日本　http://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速　http://www.shutoko.jp/
◇阪神高速　http://www.hanshin-exp.co.jp/
◇本四高速　http://www.jb-honshi.co.jp/
◇日本道路交通情報センター　http://www.jartic.or.jp/

道路ニュースの宛名変更・発送停止について

○**宛名変更**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《変更後の住所》、《「社名」または「氏名」》、《宛名変更》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。
○**発送停止**：《「No.0000」または「U-00000」に記載されている番号》、《「社名」または「氏名」》、《発送停止》を記載し、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

【宛名記載例】
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-1　尚友会館6F
全国道路利用者会議　様
No.0000　または　**U-00000**　1部

FAX　03-3501-5612
E-mail　the_road_news@road-jhuc.jp